

岡山県地球温暖化防止行動計画(平成29年3月改定)の進捗状況について

県内の温室効果ガス排出量の削減目標等を定めた、岡山県地球温暖化防止行動計画の進捗状況は次のとおりである。

1 計画の概要

(1) 期間 平成23(2011)年度～令和12(2030)年度

(2) 県内の温室効果ガス排出量の削減目標

令和12(2030)年度に平成25(2013)年度比で17.7%削減
(令和2(2020)年度に平成25(2013)年度比で3.6%削減)

2 県内の温室効果ガス排出量の状況

(1) 総括

区分 (単位: 万t-CO ₂)	基準年度 H25年度 (2013)	H28年度 (2016)	基準年度比	<速報値> H29年度 (2017)	基準年度比
			増減率		増減率
温室効果ガス排出量	5,315	4,941	△7.0%	4,834	△9.0%
うち二酸化炭素排出量	5,196	4,805	△7.5%	4,695	△9.6%

(2) 平成28(2016)年度温室効果ガス 部門別排出量

排出量の合計が、基準年度比で、374万トン、7.0%減となった主な要因は、構成割合が6割以上である産業部門が基準年度比で281万トン、8.6%減少、家庭部門が70万トン、16.2%減少したことである。

区分 (単位: 万t-CO ₂)	基準年度 H25年度 (2013)	H28年度 (2016)	基準年度比	基準年度比	構成 割合	全国の 構成割合	
			増減量	増減率			
二 酸 化 炭 素	産業部門	3,267	2,986	△281	△8.6%	60.4%	32.0%
	製造業	3,231	2,955	△276	△8.5%	59.8%	—
	民生部門	793	713	△80	△10.1%	14.4%	30.4%
	家庭	430	360	△70	△16.2%	7.3%	14.1%
	業務	363	353	△10	△2.9%	7.1%	16.2%
	運輸部門	445	412	△33	△7.3%	8.3%	16.4%
	自動車	387	358	△29	△7.5%	7.2%	—
	エネルギー転換	456	506	50	10.9%	10.2%	7.5%
	工業プロセス	136	134	△2	△1.3%	2.7%	3.6%
	廃棄物部門	99	54	△45	△45.8%	1.1%	2.2%
計	5,196	4,805	△391	△7.5%	97.2%	92.4%	
メタン	41	39	△1	△3.4%	0.8%	2.3%	
一酸化二窒素	24	25	1	2.3%	0.5%	1.6%	
代替フロン類	54	72	18	33.3%	1.5%	3.7%	
合計	5,315	4,941	△374	△7.0%	100.0%	100.0%	
全国	1,410百万t	1,308百万t	△102百万t	△7.3%			

※桁数処理の関係で合計・比率等の計算が合わない場合がある。

(3) 平成29(2017)年度温室効果ガス 部門別排出量 (速報値)

排出量の合計が、基準年度比で、481万トン、9.0%減となった主な要因は、構成割合が6割以上である産業部門が基準年度比で337万トン、10.3%減少したことである。

区分 (単位:万t-CO ₂)	基準年度 H25年度 (2013)	<速報値> H29年度 (2017)	<速報値>			全国の 構成割合
			基準年度比 増減量	基準年度比 増減率	構成 割合	
産業部門	3,267	2,930	△337	△10.3%	60.6%	31.8%
製造業	3,231	2,898	△333	△10.3%	59.9%	—
民生部門	793	691	△102	△12.9%	14.3%	30.5%
家庭	430	358	△72	△16.8%	7.4%	14.4%
業務	363	334	△30	△8.2%	6.9%	16.1%
運輸部門	445	421	△24	△5.4%	8.7%	16.5%
自動車	387	369	△18	△4.6%	7.6%	—
エネルギー転換	456	465	9	2.0%	9.6%	7.1%
工業プロセス	136	135	△0	△0.3%	2.8%	3.7%
廃棄物部門	99	52	△47	△47.3%	1.1%	2.2%
計	5,196	4,695	△501	△9.6%	97.1%	92.1%
メタン	41	38	△2	△5.9%	0.8%	2.3%
一酸化二窒素	24	25	0	0.8%	0.5%	1.6%
代替フロン類	54	77	23	41.9%	1.6%	4.0%
合計	5,315	4,834	△481	△9.0%	100.0%	100.0%
全国<確定値>	1,410 百万t	1,291 百万t	△119 百万t	△8.5%		

※ 平成29(2017)年度値は暫定値として公表されている都道府県別エネルギー消費統計等の数値を用いて算定したものであり、速報値として取りまとめた。

※ 桁数処理の関係で合計・比率等の計算が合わない場合がある。

3 主要4部門における県の対策・施策の進捗状況

(1) 産業部門

主な対策・施策

- 高効率・省資源型コンビナートの実現
- 省エネルギー性能の高い設備・機器等の導入促進

主な対策評価指標	基準年度 H25(2013)	現況	R12年度 (2030)
岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の対象となる水島地区の事業所の温室効果ガス排出量 (万t-CO ₂)	3,111	2,837 (H30(2018))	2,909
産業用照明(LED)の累積導入台数(万台)	40	140 (H29(2017))	280
高性能ボイラーの導入台数(台)	740	1,120 (H29(2017))	2,540

(2) 家庭部門

主な対策・施策

- 高効率な省エネルギー機器の普及
- 環境教育・学習の推進
- 環境負荷の少ないライフスタイルへの転換の推進

主な対策評価指標	基準年度 H25(2013)	現況	R12年度 (2030)
ヒートポンプ給湯器の累積導入台数(万台)	6.1	8.6 (H29(2017))	17.4
潜熱回収型給湯器の累積導入台数(万台)	6.5	12.2 (H29(2017))	39.2
環境学習出前講座の実施回数(累積回)	221	1,851 (H30(2018))	4,471
アースキーパーメンバーシップ会員数 (人・事業所)	10,881	12,394 (H30(2018))	19,000

(3) 業務部門

主な対策・施策

- 建築物の省エネ化の推進
- 高効率な省エネルギー機器の普及

主な対策評価指標	基準年度 H25(2013)	現況	R12年度 (2030)
ヒートポンプ給湯器の累積導入台数(台)	490	670 (H29(2017))	2,360
高効率照明(LED)の累積導入台数(万台)	80	260 (H29(2017))	540

(4) 運輸部門

主な対策・施策

- 次世代自動車の普及促進と基盤整備

主な対策評価指標	基準年度 H25(2013)	現況	R12年度 (2030)
次世代自動車(EV, PHEV, FCV)の保有台数 (台)	1,944	5,133 (H30(2018))	12,000

(5) 新エネルギーの導入促進

主な対策・施策

- 新エネルギーの普及拡大

主な対策評価指標	基準年度 H27(2015)	現況	R12年度 (2030)
新エネルギー導入率(%)	5.1	10.8 (H30(2018))	30